

令和7年度（2025年度）

管理事業名	スポーツ推進事業				総合計画 の体系		大綱 7 都市魅力			
							政策 2 文化・スポーツに親しめるまちづくり			
							施策 3 地域におけるスポーツの振興			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	32	スポーツ推進費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属	文化スポーツ推進室							

事業の目的と概要

- 【目的】
市民の健康寿命を延ばすため、地域における生涯スポーツの普及・促進に努めるとともに、スポーツに親しめる機会の充実や環境づくりを進める。
- 【概要】
・生涯スポーツ事業（スポーツ大会・教室等実施・地域スポーツ促進・千里山武道教室等）
・学校体育施設開放事業（学校体育施設開放・中学校運動場ナイター施設開放等）
・スポーツ関係育成事業（地域スポーツ指導者及び競技スポーツ指導者の養成・研修等）

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
スポーツ推進事業参加者等の総数	人	517,364	510,466	556,087	生涯スポーツ促進事業、学校体育施設開放事業、スポーツ関係育成事業（地域スポーツ指導者・競技スポーツ指導者認定者数は除く）
地域スポーツ指導者・競技スポーツ指導者の認定者数	人	72	78	70	地域スポーツ指導者・競技スポーツ指導者養成講座修了後の認定者数

II 活動実績・成果

【指標1】スポーツ推進事業参加者等の総数についての評価 参加人数は556,087人（前年比：45,621人の増）となった。 学校体育施設開放事業において、昨年度、空調工事が一段落したことで参加者が45,836人増加した。 一方、地域スポーツ促進事業（全市行事、地区行事）は825人の減少、雨天中止や地区統合のため、地区市民体育祭は6,695人減少した。 【指標2】地域スポーツ指導者・競技スポーツ指導者の認定者数 地域スポーツ指導者である吹田市社会体育リーダーの認定者数は8人増加した。 一方、競技スポーツ指導者である公認スポーツ指導員の認定者数は6人減、ノルディックウォーキング（吹田スタイル）指導者は10人減少した。 【財務情報に基づいた評価】 中学校運動場ナイター施設開放の利用団体が増加したことからナイター施設使用料収入が373千円増加した。	
--	--

III 課題と今後の取組

地区行事（地域スポーツ促進事業）については参加者の固定化が課題となっており、広く市民の参加を促すため、市ホームページで、情報を発信し周知に努めていると同時に行事内容の見直しを図る必要がある。 学校体育施設開放や中学校運動場ナイター施設開放は、手続の簡素化を進めているところであり、システムを用いた運用方法の簡略化を図っている。 スポーツ大会やスポーツ行事の運営等を担う地域・競技スポーツ指導者が高齢化しており、市民のスポーツ活動を持続的に支援するために、若い世代のスポーツ指導者を養成・育成す	ることが課題となっている。引き続き、スポーツ指導者養成講座の内容等の見直し、情報発信を行うことで指導者の養成・育成に努める。
---	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位:千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	6,771	6,663	△108
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	6,771	6,663	△108
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	431,690	460,237	28,547	その他流動負債	-	-	-
土地	314,372	314,372	-	固定負債	56,571	91,125	34,554
建物・工作物	117,318	145,865	28,547	地方債	-	37,700	37,700
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	56,571	53,425	△3,146
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	63,341	97,788	34,447
建物・工作物	-	-	-	純資産	368,348	362,449	△5,900
建設仮勘定	-	-	-	地方債	-	-	-
重要物品	-	-	-	長期借入金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	退職手当引当金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
出資金	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	431,690	460,237	28,547
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	431,690	460,237	28,547				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位:千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	2,258	2,702	3,075	373
国庫支出金(経常費用充当)	233	-	1,605	1,605
府支出金(経常費用充当)	116	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	16,073	19,039	112	△18,926
経常収入 小計(a)	18,680	21,741	4,793	△16,948
給与関係費	79,790	94,200	100,105	5,906
物件費	65,105	68,336	68,515	179
維持補修費	364	509	44	△465
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	15,770	16,719	18,047	1,328
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	2,620	5,670	8,450	2,780
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,774	6,771	6,663	△108
退職手当引当金繰入額	10,165	11,079	△1,003	△12,082
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	179,588	203,283	200,821	△2,462
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△160,908	△181,542	△196,028	△14,486
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△160,908	△181,542	△196,028	△14,486
一般財源充当額	189,466	215,458	192,717	△22,740
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	28,558	33,916	△3,311	△37,226

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位:千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	18,680	19,023	4,793	△14,230
行政サービス活動支出	168,003	190,141	195,625	5,484
行政サービス活動収支差額	△149,323	△171,118	△190,832	△19,713
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	40,144	44,340	39,586	△4,754
投資活動収支差額	△40,144	△44,340	△39,586	4,754
財務活動収入	-	-	37,700	37,700
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	37,700	37,700
収支差額 合計	△189,466	△215,458	△192,717	22,740
一般財源充当額	189,466	215,458	192,717	△22,740
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特微的な事項

勘定科目等	特微的な事項
【BS】 建物・工作物	山田東中学校運動場ナイター照明設備のLED照明更新工事による41,983千円の増 過去の開放用トイレ8施設を学校管理課に移管したことによる4,401千円の減
【PL】 使用料及び手数料	利用団体数の増加による中学校運動場ナイター施設使用料による373千円の増
【PL】 国庫支出金	学校施設予約管理システムの構築を交付対象とした新しい地方経済・生活環境創生交付金による1,605千円の増
【PL】 負担金・補助金・交付金等	スポーツ大会出場奨励金対象者の増加に伴う奨励金の995千円の増
【PL】 減価償却費	中学校運動場ナイター照明設備の年次更新による資産価値上昇による2,780千円の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
参加者1人	コスト 347 円 実績 517,364 円	398 円 510,466 円	361 円 556,087 円
	コスト 円	円	円
	実績		
分析内容	スポーツ推進事業の参加者総数が45,621人増加し、経常費用が2,462千円減少したため、参加者1人あたりのコストは37円減少した。		

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	71,791	2,934	8.02
会計年度任用等	30,324		
特別職非常勤	3,650		
合計	105,765		

分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		30.9	26.0	24.7	△ 1.3
施設維持補修費比率		0.3	0.3	0.0	△ 0.3
経常費用対公共資産比率		163.4	128.1	103.6	△ 24.5
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		1.3	1.3	1.5	0.2
一般財源充当比率		91.0	91.9	81.9	△ 10.0